

2040年頃から逆算し顕在化する地方行政の諸課題とその対応方策について （案）について

伊藤久雄（認定NPO法人まちぼっと理事）

第32次地方制度調査会第1回総会（2018年7月5日開催）において設置された専門小委員会は、第2回総会（2018年12月18日）において、「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し、どのような課題に地方公共団体が直面することになると考えられるか、また、どのように対応することが求められるか」を当面の調査審議事項に定められ、今年（2019年）7月2日の第20回専門小委員会まで議論が重ねられてきた。

7月2日の第20回専門小委員会では、中間報告（案）が議論されている。次回の専門小委員会において「中間報告」がまとめられるのかもしれないが、ここでは目次のみ紹介しておきたい。

<目次>

まえがき

第1 2040年頃にかけて顕在化する変化・課題

1 地域において対応が求められる変化・課題

(1) 人口構造の変化と課題

- ① 人口構造等の変化の見込み
- ② 人口の減少に伴う変化・課題
- ③ 年少人口の減少に伴う変化・課題
- ④ 生産年齢人口の減少に伴う変化・課題
- ⑤ 高齢者人口の増加に伴う変化・課題

(2) インフラ・空間に関する変化と課題

(3) 技術・社会等の変化と課題

- ① 技術の進展
- ② ライフコースや価値観の変化・多様化
- ③ 災害リスクの高まり

(4) 変化・課題の関係性

2 地域ごとに異なる変化・課題の現れ方

(1) 地域ごとに異なる変化・課題の現れ方の例

(2) 地域ごとの長期的な見通しの必要性

第2 2040年頃にかけて求められる視点・方策

1 2040年頃にかけて求められる視点

- (1) 変化・課題への対応の必要性と可能性
- (2) ひとに着目した視点
- (3) インフラ・空間に関する視点
- (4) 技術を活かした対応を行うための視点
- (5) ネットワーク型社会において住民の暮らしを持続可能な形で支える地方公共団体の役割

2 2040 年頃にかけて求められる方策

- (1) ひとに着目した方策
 - ① 地域社会を支える人材の育成
 - ② 多様で柔軟な働き方の実現と地域経済の活力向上
 - ③ 地域の枠を越えた連携
 - ④ 組織の枠を越えた連携
- (2) インフラ・空間に関する方策
 - ① インフラ・空間の持続可能な管理
 - ② 地域の枠を越えた連携
 - ③ 組織の枠を越えた連携
- (3) 技術を活かした対応を行うための方策
 - ① ひとへの投資
 - ② インフラへの投資

あとがき

2040 年頃から逆算し顕在化する地方行政の諸課題とその対応方策についての中間報告

(案) 全文

http://www.soumu.go.jp/main_content/000632216.pdf